

# 事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	平成 28 年度
1次評価日（主幹等）	29年3月31日
2次評価日（課長等）	29年5月31日

1 事業名	健診推進事業			コード	42101
2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	健康推進課	作成者 上原 幸代

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
	政策	保健・医療の充実	施策		予防対策の推進
	予算科目	健診推進事業費		業務委託	全部委託
	実施義務	あり（義務的・標準的事業）		国県補助	
	根拠法令	健康増進法、がん対策基本法			

## ●事業の内容 (D0)

### 4 事業の概要等

\* 対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要 (簡潔に)	各種健診（後期高齢者健診、成人歯科健診、緑内障検診等）を実施する。 各種がん検診（胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん）を実施する。
目的 対象者	市民
意図	疾病の早期発見と早期治療並びに疾病の予防を図る。

### 5 事業の実施内容

\* 28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

- ・胃、大腸、肺のがん検診及び胃のリスク度をはかるABC検診を岡谷市民病院に委託し、同一会場で実施した。また、肺CT、子宮、乳がん検診を長野県健康づくり事業団に委託し、保健センター、支所、各区公会所、市内医療機関（子宮頸がん）で実施した（受診者数 胃がん1,207人、大腸がん2,148人、肺がん1,438人、肺CT493人、乳がん1,580人、子宮頸がん1,035人、ABC検診659人）。
- ・基本健診を長野県健康づくり事業団に委託して、受診機会の少ない35～39歳の市民を対象に保健センターで実施した（受診者数32人）。
- ・後期高齢者健診を岡谷市医師会に委託し、市内医療機関で実施した（受診者数682人）。後期高齢者人間ドックを市内4医療機関に委託し、また、それ以外の医療機関で受診した者に補助し、健康増進を図った（委託 日帰り41人、1泊2日8人、補助 日帰り22人、1泊2日4人）。
- ・成人歯科健診を岡谷下諏訪歯科医師会に委託し、下諏訪町と相互乗り入れで市町内の歯科診療所で実施した（受診者数173人）。また、平成23年度から実施している二十歳の歯科健康診査を実施した（受診者数41人）
- ・緑内障検診を岡谷市医師会に委託して、市内医療機関で実施した（受診者数794人）

前年度の課題への 対応	・胃、大腸、肺がん検診及び胃のリスク度をはかるABC検診をセット検診として同一会場で実施した。 ・基本健診を国保の日曜健診（1日）と合わせて実施した。 ・がん検診（胃・大腸・肺CT）を日曜日（1日）に実施した。
----------------	---

### 6 指標の達成状況

\* 活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度(予算)
① 活動指標（指標名）	年間総受診者数			単位 人
実績値	10,111	10,073	10,312	
* 指標の説明	がん検診等の受診者数			
② 成果指標（指標名）	がん検診の要精検者の受診率			単位 %
目標値	90	91	95	95
実績値	88	84	89	
達成度	97.8%	92.3%	93.7%	
* 指標の説明	がん検診（胃・大腸・肺・乳・子宮）の精密検査対象者の精密検査受診率の平均値			
* 目標値の設定方法の説明	第4次岡谷市総合計画の目標値			

7 ア) コストの推移		* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）				[単位：円]
補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度(予算)	
① 直接事業費		47,998,043	50,939,749	50,401,497	52,012,000	
経常経費		44,246,043	46,561,422	50,401,497	52,012,000	
臨時的経費		3,752,000	4,378,327	0	0	
* 臨時の経費の説明	働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業分（平成27年度まで）					
補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度(予算)	
② 人件費		4,640,000	4,640,000	4,640,000	4,640,000	
正規職員の人数（人）		0.58	0.58	0.58	0.58	
③ 合計コスト（①+②）		52,638,043	55,579,749	55,041,497	56,652,000	
前年度比			105.6%	99.0%	102.9%	
財源	一般財源	41,148,138	45,571,149	44,587,676	44,433,000	
内訳	特定財源	11,489,905	10,008,600	10,453,821	12,219,000	
* 特定財源の説明	国庫補助金、県補助金、検診徴収金、広告料収入、後期高齢者広域連合補助金					
④ 活動一単位あたりコスト		4,835	5,083	5,338		
前年度比			105.1%	105.0%		
⑤ コストに関する補足説明						

イ) 補助金負担金の状況 [単位：件、円、%]

補助金負担金名		26年度	27年度	28年度	29年度(予算)
人間ドック補助金	件数	23	24	26	25
	金額	420,000	420,000	450,000	450,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	420,000	420,000	450,000	450,000
	割合	0.88%	0.82%	0.89%	0.87%

\* 行が足りない場合は追加してください

## ●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価	* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。	妥当性	高い
評価項目		はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。		1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。		1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。		1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。		1	

9 有効性評価	* 有効性=成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。	有効性	標準
評価項目		はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。		1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。		1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 106.0%	1	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 93.7%		0

## ●改善の内容 (ACTION)

### 10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 死因の1／3を占める「がん」の早期発見、早期治療を行うため、受診率の向上を図る。また、歯科健康診査の受診率が低いこと、年齢が若くなるほど受診率が低下することから、受診率の向上を図る必要がある。
改善方法	(上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 受診率向上のため、市民への周知、啓発に努めるとともに、より受診しやすい健診体制の研究を引き続き行う。基本健診及びがん検診の日曜日の実施を継続する。また、歯科健康診査の空白期間である30歳を対象とした健診の実施を検討する。
改善開始時期	平成29年4月

## ●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---